

知識確認問題

～VII.適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

安全な運行を行うために運転者に求められることは、()前に道路状況、()状況等の情報の入手、安全な経路の検討などを行い、適切な運行経路を選択することです。適切な運行経路の選択にあたっては、到着時間等を配慮した効率性も必要ですが、()の住宅地走行、通学路や人ごみの多い場所の走行などはなるべく避けた、安全性に富んだルート選択が重要です。

【問題 2】

気象情報から、事前に準備すべき装備などについて検討し、積雪などの情報がある場合には、()の装着や滑り止めの準備などをします。()や事故の多発する地点などは避けた運行ルートとすることが必要ですが、こうした地点は事前に()を確認し、走行時においては、十分な注意と慎重な運転が必要です。

【問題 3】

車両の構造や危険物などの積載物が()である場合については、通行経路・通行時間等の必要な条件を附して、道路管理者に()を申請しなければなりません。

【問題 4】

道路法では、トラックの構造もしくは車両に積載する貨物が特殊であるため、やむを得ないと認めるときは、規制の()に関わらず、通行経路・通行時間等について道路の構造を保全し、交通の()を防止するための必要な条件を附して、道路法で定める()限度を超える車両の通行を許可することができます。

【問題 5】

道路交通法では、貨物が()できず、積載重量等の制限を超えることとなる場合、()地の警察署長が交通の状況により支障がないと認めて許可した場合には、積載重量の制限を超える積載をして車両を運転することができます。

【問題 6】

()運送では、規定法令の制限を超えた積載物を運送することとなるため、運行にあたって運転者は細心の注意が求められます。特殊車両通行許可証など、許可時に地方整備局長、警察署長等から発行された許可証を必ず()します。()されている通行時間、通行期間、通行経路を遵守し、誘導車等の配置が義務付けられている場合には、必ず誘導車の手配をします。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。